

# 2012年 9月 県議会報告

日本共産党岡山県議会議員団



森脇ひさき

氏平みほ子

9月定例県議会では、約6億5,945万円の補正予算、倉敷地域特別支援学校の工事請負契約、電気事業会計及び工業用水道事業会計の決算認定など議案44件、私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書など議員発議4件が可決されました。

## 看護師養成——3校で80人増

氏平県議は、岡山医療センターが看護師不足のために2つの病棟を閉鎖する予定であることを示し、看護師養成は喫緊の課題として、既存の養成校に定員を増やす働きかけをすること、県立大学にも看護師養成を目的とした短大を設置することを求めました。

保健福祉部長は、「来年度は3校で定員を計80増やす予定（現在、県内の看護師等学校養成所は29校、1学年の定員は1,568人）」であることを明らかにしました。県立大学への短大設置については「県内就職率（現在、県内養成校の卒業生の63%）を高め、職場定着、離職者の再就業の促進が重要と」述べるにとどまりました。

氏平県議は、「看護師が働き続けられる職場づくりが大切だ」として、職場環境の改善についても質問しました。保健福祉部長は「管理者を対象とした就労環境改善研修や教育担当者研修等を通じ、多様な勤務形態の導入や管理能力の向上に取り組んでいる」と述べました。

## JXの偽装は制度上の問題でもある

JX日鉱日石エネルギー（株）水島製油所において、高圧ガス保安法にもとづく県への報

## 氏平県議が質問



### 【氏平県議の質問】

- ① オスプレイの配備と低空飛行
- ② 子ども医療費補助制度の年齢拡大
- ③ 看護師確保について
  - ・ 看護師養成の定数増員
  - ・ 職場環境の改善
- ④ 児童相談所の体制整備
- ⑤ JX日鉱日石の偽装報告問題
- ⑥ 倉敷駅連続立体交差事業
- ⑦ メガソーラーの環境アセスメント
- ⑧ 吉井川の水質改善

告に偽装があった問題で、氏平県議は、事業所が自ら検査する現行の「認定制度」には、事業所からの報告の真偽を確認する手段がないという欠陥があると指摘し、認定制度が偽装を生んだ事実への認識をただしました。

産業労働部長は、「法の最低限のルールさえ守ることができない誠に遺憾」な問題としたものの、不正を見抜くことができない制度の欠陥については言及しませんでした。

あわせて氏平県議は、偽装予防策、コンビナート防災対策の強化策について質問しました。部長は、「法令遵守等の指導強化、検査の方法を工夫することにより、事業所の保安体制や安全対策の点検強化」「事故の多発を受け、施設の老朽化への対応方針や緊急時の施設停止手順を明確にするよう指導を徹底する」「巨大地震による被害想定を踏まえた防災アセスメントを実施し、その結果をコンビナート防災計画に反映させる」とのべました。

### 鉄道高架——メドがたたない事業は中止せよ

倉敷駅付近連続立体交差事業について氏平県議は、6月予定の事業再評価を延期した

問題について質問しました。知事は延期の理由について、「倉敷市が進める駅周辺のまちづくり事業と一体的に取り組む必要があり、市が実施する土地区画整理事業が遅れ」たことをあげました。

スケジュールについては、5年前の事業再評価において「明確にするよう」指摘されていた問題でした。今回の再評価延期は、5年間でスケジュールを明確にできなかったということであり、その原因は区画整理への住民合意が整っていないことにあります。住民合意が得られない事業をいつまでも引き伸ばすのではなく、きっぱり中止し、現況でのまちづくり、渋滞緩和策等を検討するべきです。

### 一律に環境アセスを不要とすることは問題

氏平県議は、瀬戸内市が市所有の錦海塩田跡地500ヘクタールの土地に400ヘクタールという規模のメガソーラーを設置しようとしている例をあげ、「一律にアセスの対象からはずすことは問題」と指摘しました。この地は鷹の仲間「チュウヒ」（環境省のレッドリストで「絶滅危惧 I B類」、生息数は全国で100羽に満たな



J X 日 鉦 日 石 の 偽 装 現 場 調 査  
倉 敷 市 議 団 と と も に （ 7 月 27 日 ）



「 消 費 税 増 税 ・ 社 会 保 障 改 悪 」 反 対 デ モ  
（ 8 月 8 日 ）

い)の繁殖が確認されており、また、1万羽のツバメが長い越冬のための航海を前に羽を休め、航海の練習場所にもなっており、さらに環境省の「日本の重要湿地500」にも指定されています。知事は、「瀬戸内市では、多様な生態系をもつエリアとの認識のもとに、環境保全に

留意した活用基本計画を策定すると聞いており、メガソーラーの整備後においても自然環境への配慮が適切になされるよう、県としても技術的助言等に努めてまいりたい」と述べましたが、「アセスの対象外」とする方針は改めませんでした。

### 議案・発議の採否結果

【議案】	共産	自民	民・県ク	公明	結果
平成24年度補正予算(第1号)	○	○	○	○	○
スポーツ推進条例	○	○	○	○	○

○=賛成、×=反対

【発議】	共産	自民	民・県ク	公明	結果
尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書(自民党案)	×	○	×	○	○
尖閣諸島の実効支配の推進を求める意見書(民主県民クラブ案)	×	×	○	×	×
北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書(自民党案)	×	○	×	○	○
北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書(民主県民クラブ案)	×	×	○	×	×
父子家庭支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○

○=賛成、×=反対

### 森 脇 県 議 が 討 論

オスプレイの配備撤回、米軍機の低空飛行訓練中止等を国に求める陳情について。日米両政府は、世界一危険な普天間基地へ世界一危険なオスプレイの配備を強行しました。国民の半数以上が安全性を懸念し、とくに沖縄県では、県議会も全会一致で「配備反対」を決議しています。山口県での試験飛行では、下

関市の市街地上空を飛行しました。

森脇県議は、①国民の声に耳を傾けず、米国いいなりに配備を強行した政府の姿勢は厳しく問われなければならないこと、②オスプレイ配備は、殴り込み部隊である海兵隊を大量・迅速に移動させるのであり日本防衛には関係ないこと、③沖縄・岩国をはじめ全国に広がる反対の声に連帯することを示し、陳情の採択を主張しました。

少人数学級の推進などを求める請願について。森脇県議は、「子どもたちにふさわしい学校をどうつくるのかが問われている」とし、そのため、①教員が教育者として誇りによるこびをもって仕事にとりくめているかどうか、②教育の主役である子どもたちが大切にされていると実感できる教育がおこなわれているかどうか、の視点が重要だと指摘しました。

また、「①貧弱な教育予算を増やすこと、正規の教員を増やし『多忙化』を解消し、ゆとりをもって子どもたちと接する状況をつくり、教員の意欲を引きだし、教員の力も伸ばせるような環境をつくること、②『人格の完成』(教育基本



尖閣諸島問題で「政府は領土問題の存在を認め外交交渉を」との日本共産党の提言にもとづき県と懇談(9月24日) 左から垣内雄一・衆院1区候補、森脇県議、氏平県議、井上素子・衆院2区候補



岡山市議団とともに中国電力へ島根原発の再稼動をしないよう申し入れ (10月3日)

法)の立場で、子どもたちに知識と体力、情操を身につけ、次の時代を自らの力で創造できる人間として育っていくことを助けるものとしなくてはならない」と述べました。そのうえで、「過度な競争、序列化に頼った『学力観』を見直し、教員と子ども、子ども同士の血の通った信頼関係を築くことができ、子ども自身のとりくみを尊重できる教育が必要」「本来学校とは、豊かな学びと子どもたちの成長を保障する場なのに、そうなり得ていないということが最大の問題」とし、「『子どもの立場に立った教育』への前進のために請願の採択を」と主張しました。

### 県民にあたたかい県政を

10月28日の知事選挙では、日本共産党が推薦した大西幸一候補は、33,577票を得ましたが及びませんでした。

選挙での公約、選挙中に寄せられた声をひとつでも多く実現するため、住民運動や議会でのとりくみをさらに強めたいと思います。引き続きご支援をお願いします。



### 日本共産党 岡山県議会議員団

森脇ひさき 氏平みほ子

2012年 11月 No. 7

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6 岡山県議会内

TEL 086-226-7412 FAX 086-231-2187

ホームページは日本共産党岡山県議団で検索してください

お気軽にご意見・ご要望をお寄せください